

# あきる野市 議会だより

平成20.5.1

NO. **51**

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



ローラーすべり台で元気に遊ぶ子どもたち（グリーンスポーツ公園）

## 第1回（3月）定例会

- **審議結果**  
提出された議案を慎重に審議..... P 2
- **一般質問**  
聞いてみたいな、こんなこと（質問者15名）..... P 6
- **議会人事**  
新しい議長などが決まりました..... P 14
- **あきる野ウォッチング**  
あんなとこ、こんなとこ（伊奈）..... P 18

**本会議の様様をインターネットで配信中**

くわしくは17頁をご覧ください

# 平成20年3月

## 定例会の概要

3月定例会は、2月27日に開会し、3月26日まで29日間の会期で行われました。定例会初日は、議長の選挙が行われ、新しい議長が決まりました。また、平成20年度施政方針が行われ、その後、市長から提出のあつた議案を審議し、補正予算等の採決や議案の委員会付託などが行われました。

3月4日・5日・6日の3日間は、常任委員会が開催されました。4日には総務委員会、5日には環境建設委員会、6日には福祉文教委員会の各常任委員会が開催され、付託された議案の審査などが行われました。

3月11日から13日までの3日間は、15名の議員による一般質問が行われました。

3月17日・18日には予算特別委員会が開催され、平成20年度の一般会計予算と7件の特別会計予算が審査されました。

最終日の3月26日には、総務・環境建設・福祉文教の各常任委員長、予算特別委員長の委員会審査の報告などを受けて、質疑・討論の後、議案の採決が行われました。

## 3月定例会で決まったこと

### 市長提出議案（30件）

あきる野市青少年交流会館の設置及び管理に関する条例

青少年交流会館の設置に伴い、規定を整備するものです。  
（全会一致で原案を可決）

あきる野市後期高齢者医療に関する条例

後期高齢者医療制度の施行に伴い、規定を整備するものです。  
（賛成多数で原案を可決）

あきる野市組織条例等の一部を改正する条例

行政事務のより一層の効率化を推進し、多様化する行政課題及び住民ニーズに対応した行政組織に再編するため、規定を整備するものです。

あきる野市基金条例の一部を改正する条例

あきる野市健康づくり応援基金の設置に伴い、規定を整備するものです。

あきる野市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）の施行に伴い、規定を整備するものです。

あきる野市児童館条例の一部を改正する条例

若草児童館の廃止に伴い、規定を整備するものです。

あきる野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）の施行及び葬祭費の支給額の改正に伴い、規定を整備するものです。

あきる野市下水道条例の一部を改正する条例

地方自治法（昭和22年法律第67号）の改正により、指定代理納付者による立替払による公金の納付が可能となったことに伴い、規定を整備するものです。

あきる野市育英資金貸付基金条例及びあきる野市立学校施設使用条例の一部を改正する条例

学校教育法等の一部を改正する法律（平成19年法律第96号）の施行に伴い、規定を整備するものです。

あきる野市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令（平成19年政令第365号）の施行に伴い、規定を整備するものです。

### 市道路線の認定について

あきる野市菅生819番地5先から同816番地2先までは、現況が道路となっており、道路として管理するため、市道路線に認定するものです。

市道路線の廃止について  
あきる野市引田721番地1先から同724番地先までの市道路線は、現況が廃滅し、道路の機能を果たしておらず、廃止するものです。

市道路線の廃止について  
あきる野市瀬戸岡422番地8先から同807番地3先までの市道路線は、現況が廃滅し、道路の機能を果たしておらず、廃止するものです。

市道路線の廃止について  
あきる野市草花716番地2先から同715番地1先までの市道路線は、現況が廃滅し、道路の機能を果たしておらず、廃止するものです。

市道路線の廃止について  
あきる野市入野746番地1先から同749番地1先までの市道路線は、開発区域内の道路に付け替えるため、廃止するものです。  
(以上、全会一致で原案を可決)

東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約  
後期高齢者の保険料について、軽減に係る経費を、各区市町村の一般財源から分賦金として支弁することとするため、規約の変更をするものです。  
(賛成多数で原案を可決)

平成19年度あきる野市一般会計補正予算(第4号)補正予算額については、下の表をご覧ください。

平成19年度あきる野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
平成19年度あきる野市介護保険特別会計補正予算(第2号)

平成19年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算(第2号)  
平成19年度あきる野市受託水道事業特別会計補正予算(第1号)  
(以上、全会一致で原案を可決)

平成20年度あきる野市一般会計予算  
詳細については4・5頁をご覧ください。

平成20年度あきる野市国民健康保険特別会計予算特別会計予算額については、4頁の別表をご覧ください。

平成20年度あきる野市老人保健特別会計予算

平成20年度あきる野市後期高齢者医療特別会計予算  
平成20年度あきる野市介護保険特別会計予算

平成20年度あきる野市倉庫産区特別会計予算  
(以上、賛成多数で原案を可決)

平成20年度あきる野市下水道事業特別会計予算

平成20年度あきる野市受託水道事業特別会計予算  
(以上、全会一致で原案を可決)

あきる野市監査委員の選任について  
あきる野市監査委員山下田孝雄氏が平成20年2月27日をもって退職したため、その後任として町田匡志氏を選任するために議会に同意を求めるものです。任期は平成21年6月30日までとなります。  
(投票の結果、賛成多数で同意)

議員提出議案(3件)  
道路特定財源の堅持を求める意見書  
(賛成多数で原案を可決)

道路特定財源の一般財源化及び道路関係諸税の暫定税率廃止を求める意見書  
(「道路特定財源の堅持を求める意見書」が可決されたため、本案は議決不要)

あきる野市議会委員会条例の一部を改正する条例  
(全会一致で原案を可決)

陳情(4件)

福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情  
介護保険の改善を国に求める陳情

「同居家族がいても生活援助サービスが受けられない」厚生労働省通達(事務連絡)を徹底させる陳情  
(以上、賛成少数で陳情を不採択)

「るのバス」の改善を求める陳情  
(全会一致で陳情を継続審査)

平成19年度 会計別補正予算額

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	245億2424万5千円	3億3105万5千円	241億9319万0千円
特別会計			
国民健康保険	81億2365万8千円	3516万0千円	80億8849万8千円
介護保険	40億6577万8千円	1億4403万0千円	39億2174万8千円
下水道事業	33億0764万9千円	1222万7千円	33億1987万6千円
水道事業	10億9070万0千円	5934万8千円	10億3135万2千円

# 平成20年度予算を可決

## 平成20年度歳入歳出予算について

### 予算特別委員会を設置し、2日間にわたり審査

平成20年度の一般会計予算と7件の特別会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月17日・18日の2日間にわたり、審査を行いました。

委員会では、活発な議論を行い、慎重な審査の結果、平成20年度の一般会計予算及び7件の特別会計予算は、すべて原案のとおり可決されました。

予算特別委員会による2日間の審査の後、最終日の3月26日の本会議において、予算特別委員会の委員長が審査報告を行い、その報告を受け、質疑や討論が行われました。その後、平成20年度の一般会計予算及び7件の特別会計予算の採決が行われ、すべて原案のとおり可決されました。



予算特別委員会での採決

## 平成20年度 会計別予算額

会計別	平成20年度当初予算額	平成19年度当初予算額	増減率	
一般会計	256億1483万0千円	242億3570万3千円	5.7%	
特別会計	国民健康保険	84億0578万4千円	79億6877万3千円	5.5%
	老人保健	6億1221万0千円	45億4462万6千円	86.5%
	後期高齢者医療	11億1246万0千円	0円	かいぞう 皆増
	介護保険	41億0184万4千円	39億6963万4千円	3.3%
	戸倉財産区	1470万2千円	1380万4千円	6.5%
	下水道事業	60億0194万7千円	33億1997万1千円	80.8%
	受託水道事業	12億3190万0千円	10億9070万0千円	12.9%
小計	214億8084万7千円	209億0750万8千円	2.7%	
合計	470億9567万7千円	451億4321万1千円	4.3%	

皆増とは、新年度から新たに予算計上されたものです。

清風会

「平成20年度あきる野市一般会計歳入歳出予算」について、歳入では市税収入が減となっている。また、市債については、小中学校校舎の耐震補強事業のため増となるが、道路整備事業などは極力抑制することにより、市債残高の縮小が図られたことは、的確な対応であると考えられる。

歳出では、日曜日の本庁舎コミュニティホールと市民ロビーを開放し、市長の芸術や文化活動の向上を図る。国際規格であるISO14001を認証取得から自己宣言方式へ移行したことは評価できる。待機児童の解消策に補助金を計上し学童クラブの充実を図る。また、「ふるさと農援隊事業」による地域特性を活かした健康の促進、「地域産業活性化事業」による地域経済力の強化等も評価する。さらに、道路網の整備については、檜原街道の矢柄橋架け替え、秋3・4・16号線のJR五日市線との立体交差への着手など、今後の取り組みに期待する。

教育に関しては、「おとなが手本のあきる野市」が展開されることは青少年の健全育成の一環として大いに期待する。以上列挙したように、「市民と協働のまちづくり」に重点を置いた、あきる野市が新たなステージへ踏み出すためにふさわしい予算であると評価し、賛成討論とする。

日本共産党あきる野市議団

給与所得や年金収入の減少で市税が落ち込み、勤労者の所得は九年間連続で減少している。また、三分の一の青年労働者が非正規雇用である。

新年度予算には、日本共産党あきる野市議団が要求してきた小中学校の耐震化、妊婦検診の負担軽減、待機児童解消、五日市学童クラブの充実など、一定の前進が図られた。

市財政の最大の問題である土地開発公社に、市民の税金から金利と土地処分損失分として約一億八千三百万円を計上している。この五年間では六億六千七百万円となり、市民一人当たり八千円を越える市民の税金が使われている。土地開発公社の問題点と、健全化計画の方針を市民に分かるように説明すべきだ。

また、国民健康保険の葬祭費の五万円を三万円に減らしてしまった。三万円の葬祭費は三多摩では二市しかない。

私達が長野県佐久市を訪問した際、市長は、子育て支援の多岐にわたる支援活動は、企業誘致を行わなくても、企業側からぜひ佐久市にきたいと言っている。自治体の任務は教育と福祉・医療につきる。住民の笑顔があふれるまちを發展させていくのが私の務めだと述べていた。こうした市政運営こそ、今、市民は求めている。以上の点を揚げ、反対討論とする。

賛成

反対

民主・無所属クラブ

平成20年度一般会計予算の総額は、256億1483万円、前年度対比13億7912万7千円、率にして57%の増である。また、平成20年度特別会計予算7会計の総額は214億8084万7千円、前年度対比5億7333万9千円、率にして、27%の増で、一般会計と特別会計を合わせた総予算額は470億9567万7千円、前年度対比19億5246万6千円、率にして43%の増であるが、その内、一般会計予算については、限られた資源を有効かつ効率的に活用し、施策の重点化を図りつつ、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）に基づき、本市の平成18年度の4指標水準では、現時点で、健全化の対象にはならないことを踏まえ、小中学校の耐震化及び健康福祉都市を目指した事業の推進。さらに、武蔵引田駅周辺地域での土地区画整理事業の事業化に向けた現況測量を予定する。「土地開発公社」の経営健全化についても引続き最優先課題としていることなど、評価するものである。今後も活力ある市政を推進するよう要望し、賛成討論とする。

賛成

賛成

公明党

あきる野市は白井市長の下、新たな船出の時を迎えている。

平成20年度一般会計予算は、総額256億1483万円、前年度対比13億7912万7千円、57%の増となっている。「将来の発展に向け踏み出すための予算」として、施策の重点化が図られており、積極的にバランスの取れた予算であると考えられる。特に、産業振興と地域の活性化を図るための3プロジェクトの立ち上げを始め、地域防災課の設置、障害者支援の拠点となる健康会館のリニューアル、五日市学童クラブの充実、ブックスタート事業の開始、学校施設の耐震化、市道幹線道路の整備など、限られた財源を有効かつ効率的に活用するための予算配分であると評価する。

また、行政改革推進プランに基づく取り組みとして職員数の削減、体育施設の改革・改善、保育園の民設民営化も評価できる。

今後、厳しい財政状況の中、引き続き堅実な財政運営に努められ、より一層市民のため、福祉の向上と、活力あるまちづくりを推進していただくことをお願いし、賛成討論とする。